

1 適用範囲

本資料は、ICT 施工において、3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術および3次元マシンコントロール（バックホウ）技術を使用して、構造物の築造または撤去を目的とした、土砂、岩塊・玉石の掘削等である床掘に適用する。

平均施工幅 2 m以上の土砂の掘削等である床掘の ICT 建設機械による施工の積算に当たっては、床掘り（ICT）の施工パッケージ型積算基準により行うこととする。

平均施工幅 2 m未満の土砂の掘削等である床掘の積算に当たっては、別紙－６「ICT 活用工事積算要領（小規模土工）」によるものとする。

2 機械経費

2－1 機械経費

床掘り（ICT）の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、土木工事標準積算基準書の「第2章 工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。

①作業土工（床掘り）（ICT）

ICT建設機械名	規格	機械経費	備考
バックホウ (クローラ型)	標準型・ICT施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制)山積 0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力2.9t	賃料にて計上	ICT建設機械経費加算額は別途計上

※ 2－1 機械経費のうち、賃料にて計上する ICT 施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。

2－2 ICT 建設機械経費加算額

2－2－1 賃料加算額

ICT 建設機械経費賃料加算額は、地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2－1 機械経費のうち賃料にて計上する ICT 建設機械に適用する。

なお、加算額は、以下のとおりとする。

(1) 作業土工（床掘り）（ICT）

対象建設機械：バックホウ（ICT 施工対応型）

賃料加算額：13,000 円／日

2－3 その他

ICT 建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

2－3－1 保守点検

ICT 建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

(1) 床掘工（ICT）

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \frac{\text{施工数量(m}^3\text{)}}{\text{作業日当り標準作業量(m}^3\text{/日)}}$$

（注）作業日当り標準作業量は「第 I 編第 14 章その他④作業日当り標準作業量」の ICT 標準作業量による。

（注）施工数量は、ICT 施工の数量とする。

2-3-2 システム初期費

ICT 施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

（1）掘削（床掘り）（ICT）

対象建設機械：バックホウ

費用：598,000 円／式

3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。

4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

床掘工（ICT）については、出来形管理を行わないため、費用は計上しない。